

関東連盟新聞 第19号!



★全日本大学準硬式野球選手権大会

関東同士の決勝戦は中央大に軍配 悲願の2連覇達成

8月19日(火)～24日(日)にかけて、北海道で行われた全日本大学準硬式野球選手権大会は、中央大学が2年連続14回目となる優勝を果たし閉幕しました!

○出場校の最終結果

優勝
中央大学
(2年連続14回目)

準優勝
立教大学

ベスト8

国士舘大学 専修大学 早稲田大学

ベスト16

法政大学 明治大学

○数々の関東同士の戦い

2回戦から決勝戦まで、
数々の関東地区同士の熱戦が繰り広げられました!

☆決勝戦

立教 vs 中央
2 - 5

☆準々決勝

早稲田 vs 立教
2 - 3x

☆準々決勝

中央 vs 国士舘
3 - 1

☆2回戦

法政 vs 国士舘
0 - 2

☆2回戦

明治 vs 中央
1 - 2



優勝した中央大学に インタビューしました!

主将
相野 七音 選手
(4年・花巻東)
にインタビューしました!



Q.大会を終えた今の気持ち

寮生活を共にした仲間と日本一を達成出来たことは、今後の人生においてかけがえのない財産となりました。苦しい時期や悩んだ時期もありましたが、それほどまでに本気で日本一という目標を叶えたいと練習に打ち込みました。その努力が報われた瞬間、肩に背負っていた重荷が一気に解き放たれたように感じました。

Q.主将が選ぶ今大会のMVPは?

岩井 大和 選手(4年・東海大学菅生)

劣勢な場面には声を出し、プレーは勿論、それ以上に今大会ではチームの雰囲気上げ、支えてくれました。チームを最優先するあの姿はチームにとってなくてはならない存在でした。

★清瀬杯第57回全日本大学選抜準硬式野球大会

神奈川大が6年ぶり3度目の優勝

8月30日(土)～9月3日(水)にかけて、宮城県で行われた清瀬杯は、神奈川大学が2019年以来3度目となる優勝を果たし閉幕しました！



優勝した神奈川大学にインタビューしました！

主将**田邊 隼人**選手
(3年・開志学園)



Q.ズバリ、勝因は？

試合を重ねるごとに成長し勢いをつけ、自分達が持っている以上の力を発揮出来たことだと思います。そして応援団や保護者・OBの皆さまの温かいご声援により、強い一体感を持つことができました。

高校野球、生きてます！

今回は、2名にインタビューしました！

Q1 大学でJUNKOを選んだ理由

Q2 大学野球を続ける中で高校時代のこれが活きた！と思った瞬間は？

▶ 北里大学(新関東リーグ)

綿貫 拓己選手 (1年・都立新宿)

Q1 薬学と野球を両立したい！

小学生から野球を続けながら薬剤師を目指してきました。大学は薬学に強い北里大学で学業と野球の両立を目指し、硬式と同等に真剣に取り組める準硬式野球部に魅力を感じました！

Q2 「毎日一人で努力する姿勢」

高校では1番努力した自信がありましたが、結果に結びつかず悔しい思いをしました。しかしその努力は大学で成果となり、努力は無駄ではなかったと実感しています！



▶ 国士舘大学(東都リーグ)

高橋 春輝選手 (3年・日本大学第三)

Q1 将来の進路

高校指導者の方たちに教員免許を取りたいと進路の相談をしたところ、準硬式野球を勧めていただいたからです！

Q2 高校時代からの積み重ね

外野からのバックホームのカバーや、守備での状況判断など、厳しく指導していただいたことが様々な場面で生きていていると感じています！

